

地理歴史

(日本史探究)

発 番 号	行 名	者 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	日探 701	B 5	342	令和4年
7	実教出版	実教	日探 702 ◆	B 5 変型	406	
7	実教出版	実教	日探 703 ◆	A B	246	
35	清水書院	清水	日探 704 ◆	B 5	302	
81	山川出版社	山川	日探 705 ◆	B 5 変型	398	
81	山川出版社	山川	日探 706 ◆	B 5	302	
183	第一学習社	第一	日探 707 ◆	B 5	312	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

日本史探究		冊数	7冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 実教702 実教703 清水704 山川705 山川706 第一707		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【地理歴史の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【日本史探究の目標】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【日本史探究の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
A 原始・古代の日本と東アジア (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境 (2) 歴史資料と原始・古代の展望 (3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述） B 中世の日本と世界 (1) 中世への転換と歴史的環境 (2) 歴史資料と中世の展望 (3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）	(1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。 ア 我が国の歴史と文化について各時代の国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点から考察できるよう指導を工夫すること。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>C 近世の日本と世界</p> <p>(1) 近世への転換と歴史的環境</p> <p>(2) 歴史資料と近世の展望</p> <p>(3) 近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）</p> <p>D 近現代の地域・日本と世界</p> <p>(1) 近代への転換と歴史的環境</p> <p>(2) 歴史資料と近代の展望</p> <p>(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造</p> <p>(4) 現代の日本の課題の探究</p>	<p>イ この科目では、中学校までの学習や「歴史総合」の学習との連続性に留意して諸事象を取り上げることにより、生徒が興味・関心をもって我が国の歴史の展開を学習できるよう工夫すること。その際、我が国の歴史を大観して理解し、考察、表現できるようにすることに指導の重点を置き、個別の事象のみの理解にとどまることのないよう留意すること。また、各時代の特色を総合的に考察する学習及び前後の時代を比較してその移り変わりを考察する学習の充実を図ること。</p> <p>ウ 年表や地図、その他の資料を積極的に活用し、地域の文化遺産、博物館や公文書館、その他の資料館などを調査・見学したりするなど、具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際、歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義、文化財保護の重要性に気付くようにすること。また、科目の内容に関係する専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り、社会との関わりを意識した指導を工夫すること。</p> <p>エ 活用する資料の選択に際しては、生徒の興味・関心、学校や地域の実態などに十分配慮して行うこと。</p> <p>オ 近現代史の指導に当たっては、客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成すること。その際、核兵器などの脅威に着目させ、戦争や紛争などを防止し、平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識するよう指導を工夫すること。</p> <p>カ 近現代史の指導に当たっては、「歴史総合」の学習の成果を踏まえ、より発展的に学習できるよう留意すること。</p> <p>キ 文化に関する指導に当たっては、各時代の文化とそれを生み出した時代的背景との関連、外来の文化などとの接触や交流による文化の変容や発展の過程などに着目させ、我が国の伝統と文化の特色とそれを形成した様々な要因を総合的に考察できるよう指導を工夫すること。衣食住や風習・信仰などの生活文化についても、時代の特色や地域社会の様子などに関連付け、民俗学や考古学などの成果の活用を図りながら扱うようにすること。</p> <p>ク 地域社会の歴史と文化について扱うようにするとともに、祖先が地域社会の向上と文化の創造や発展に努力したことを具体的に理解させ、それらを尊重する態度を育てるようにすること。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第2節第3款第1（1）
b	複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	学習指導要領第2章第2節第2款第4、1（1）
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 大項目 A～D それぞれについて、この科目で育むべき資質・能力を身に付けさせるために工夫していることを見取る。
- b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動
- ・ 大項目 A～D それぞれについて、複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動を取り上げている場面を見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 学習指導要領の内容の取扱いにおいて、「歴史に関わる諸事象については、地理的条件と関連付けて扱うとともに、特定の時間やその推移及び特定の空間やその広がりの中で生起することを踏まえ、時間的・空間的な比較や関連付けなどにより捉えられるよう指導を工夫する」ことが言及されているため、日本史探究では、大項目 A～D おいて資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的な調査をする。
- b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動
- ・ 学習指導要領の目標における「現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする」という箇所を踏まえ、複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動をどのように扱うのかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	東書
教科書番号	日探701
教科書名	日本史探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・資料から歴史に関わる情報を収集する場面が設定されており、原始・古代の特徴を読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・中世の日本をめぐる交易ルートなどの地図や資料を取り上げ、世界との関連について考える場面が設定され、地理的条件や地域の文化と関連付けながら理解を深めることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・近世の日本の貿易や世界との結び付きに関する地図等を取り上げ、世界との関連について考える場面が設定され、地理的条件や地域の文化と関連付けながら理解を深めることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・鉄道網の拡大の図、統計資料、グラフ等を取り上げ、歴史資料を基に、近現代の特色に関わる情報を収集し、読み取り、まとめる技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・中国の歴史書や地図、遺物等、複数の資料を掲載し、古代国家の特色について考え、資料を分析した結果を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・絵巻物や貴族の日記等、民衆生活を反映する複数の資料を掲載し、中世の社会の特色について考え、資料を分析した結果を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・近世の諸法典、民衆生活を反映する複数の資料を掲載し、近世の社会の特色について考え、資料を分析した結果を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・新聞記事や民衆生活を反映する統計資料等、複数の資料を掲載し、近現代の特色について国際情勢と関連付け、資料を分析した結果を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・扉絵で日本各地に点在している世界遺産一覧の地図や写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の歴史的展開とともに、各時代の特徴を表す文化に関する遺構や遺物、文献、絵画等を掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・現代を扱う箇所、国旗・国歌法について記載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期のアジア等の諸地域の歴史や文化について取り上げ、関連する遺構や遺物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令をよりどころにして、差別からの解放を求める動きが広まったことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、全国水平社が差別からの解放を目指す部落差別解放運動を進めたことについて記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、大岡忠相により整備された町火消の制度等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災、その後の復興事業、市街地が郊外へ拡大したこと等について記載している。 ・敗戦前後を扱う箇所、敗戦前後に起きた自然災害一覧について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、オリンピック景気について記載している。 ・現代を扱う箇所、2020オリンピック・パラリンピックの東京開催決定、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期について記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代を扱う箇所、妻問婚等の当時の結婚生活等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性に家督を継ぐ権利や財産相続の権利が認められなかったこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、強い戸主権、相続等における男女の不平等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、青鞥社や平塚らいてう、市川房江、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	日探702◆
教科書名	日本史探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・資料から歴史に関わる情報を収集し、原始・古代の特徴を読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・中世の日本をめぐる交易ルートの地図等を取り上げ、世界の中の日本という視点から考察する場面が設定されており、地理的条件と関連付けながら中世の特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・近世の東アジアの交易ルートの地図等を取り上げ、世界の中の日本という視点から考察する場面が設定されており、地理的条件と関連付けながら近世の特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・我が国における近代化、立憲国家体制の成立までの過程等を取り上げ、近現代の特色に関わる情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・遺跡や民衆の生活の記録等、複数の資料を掲載し、古代の日本社会を多面的・多角的に考察し、資料を分析した結果を根拠にしてまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・荘園の絵図や仏教に関する歴史資料等、複数の資料を掲載し、中世社会を多面的・多角的に考察し、資料を分析した結果を根拠にしてまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・暮らしや宗教への取締りに関する法令等、複数の資料を掲載し、近世社会を多面的・多角的に考察し、資料を分析した結果を根拠にしてまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・世相を表すグラフ、輸出・輸入のデータ等、複数の資料を掲載し、近現代の展開について国際情勢と関連付け、資料を分析した結果を根拠にしてまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・扉絵で日本各地に点在している世界遺産一覧の地図や写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の政治史、社会史とともに、各時代の文化史について取り上げ、遺跡、文献、絵画、彫刻等を掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・現代を扱う箇所、国旗・国歌法について記載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期のアジア等の諸地域の歴史や文化について解説し、関係する遺跡、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令の下で、従来の差別的な呼称は廃止されたが、差別が続いたことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、部落差別解消を目指す全国水平社の設立について記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、明暦の大火や享保の改革における防火・消火制度の改善等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災に関する被害や人々のパニックの様子、社会運動への弾圧等について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、札幌冬季オリンピック、長野冬季オリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期について記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代を扱う箇所、男性に課される人頭税の負担に伴い、女性も貢納物の生産に従事していたこと、古代の仏教においては女性は男性よりも罪深いとする考えが広まったこと等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性の社会における活動の場が限定されていたこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、女性は男性と対等の権利を認められなかったこと等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、青鞞社や新婦人協会、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、編集されている。 ・見やすいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	日探703◆
教科書名	精選日本史探究 今につながる 未来をえがく

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・出土した木簡の記載内容の解読等、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・様々な時代の世界地図等を取り上げ、世界の中の日本という視点から考察する場面が設定されており、地理的条件や地域の文化と関連付けながら中世の特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・当時の世相を表すグラフや絵画資料を取り上げ、世界との関連について考える場面が設定され、地理的条件や地域の文化と関連付けながら理解を深めることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・世界と日本を比較する年表や風刺画、グラフ等の資料を取り上げ、歴史資料を基に、近現代の特色に関わる情報を収集し、読み取り、まとめる技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・中国の歴史書等の複数の資料を配置し、民衆の生活について推測し、古代の日本社会の特徴について、資料の内容を根拠にまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・絵巻物や貴族の日記等の複数の資料を配置し、民衆の生活について推測し、中世の日本社会の特徴について、資料の内容を根拠にまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・宣教師が残した記録等、複数の歴史資料を配置し、民衆の生活について推測し、近世の日本社会の特徴について、資料の内容を根拠にまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・軍隊や兵士が残した記録等、複数の資料を配置し、近現代における政治の展開について、国際情勢と関連付け、資料の内容を根拠にまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末で日本各地に点在している世界遺産一覧の地図や写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の政治史、社会史とともに、各時代の文化史についての特徴について解説し、遺跡、遺物、文献、絵画等を掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・現代を扱う箇所、国旗・国歌法について記載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期の世界の歴史や文化、日本に与えた影響について解説し、関係する遺跡や建築物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代の社会を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令により、四民平等の実現が目指されたこと、人々の根強い差別意識が露わになったことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、全国水平社が人間の尊厳、自由と平等を求めて差別撤廃の運動を進めたことについて記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、大岡忠相により整備された町火消、浅間山噴火による火砕流等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災に関する被害や人々のパニックの様子、社会運動への弾圧、震災復興等について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期について記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代を扱う箇所、狩猟は男性、土器づくりは女性が行うなどの分業があった可能性等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性の家督や財産を相続することが少なかったこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、女性は財産権をもたず、良妻賢母であることが求められたこと等について記載している。 ・大正の社会運動を扱う箇所、青鞥社や平塚らいてう、女性解放論、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、編集されている。 ・見やすいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	清水
教科書番号	日探704◆
教科書名	高等学校 日本史探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・邪馬台国について取り上げた中国の歴史書の読解等、原始・古代の特徴を読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・蒙古襲来等の絵巻物の事例を取り上げ、問いについて考える場面が設けられるなど、中世の特色を示す資料を基に、情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・幕藩体制、幕府と朝廷との関係を取り上げ、問いについて考える場面が設けられるなど、近世の特色を示す資料を基に、情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・時代ごとの天皇の位置付けなどの事例を挙げ、問いについて考える場面が設定されており、近現代の統治に関わる情報を収集し、読み取り、まとめる技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・東アジアの情勢や歴史書、地図等の複数の資料を掲載し、古代の政治の展開について、資料の内容を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・荘園の絵図や日記、朝廷への訴状等、複数の資料を掲載し、中世社会の統治の変容について、資料を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・近世の諸法典等、複数の資料を掲載し、近世社会の統治の変容やその後の社会への影響について、資料を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・修身の教科書等、天皇の立ち位置に関する複数の資料を掲載し、近現代におけるの統治について、国際情勢と関連付け、資料を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の政治、経済、社会とともに、各時代の文化について解説し、特徴的な遺跡、文献、絵画、彫刻、建築物等、世界遺産に登録されているものを含めて掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・現代を扱う箇所、国旗・国歌法について記載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期のアジア等の諸地域の歴史や文化について解説し、関係する遺構や遺物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令の下で、差別的な呼称は廃止されたが、差別が続いたことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、部落差別解消を目指す全国水平社の設立について記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、明暦の大火や享保の改革における町火消、浅間山の噴火等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災に関する被害や人々のパニックの様子、社会運動への弾圧等について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、札幌冬季オリンピック、長野冬季オリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期について記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代、弥生時代を扱う箇所、時代の変化に伴う性別の分業の推移等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性の地位が一般的に低く、親や夫に従うこと正しい生き方とされていたこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、日本の近代化を支えた製糸業と工女等について記載している。 ・大正の社会運動を扱う箇所、青鞥社や平塚らいてう、職業婦人の増加等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	山川
教科書番号	日探705◆
教科書名	詳説日本史

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・鉄剣や副葬品等の事例を取り上げ、古代国家と海外のつながりを様々な情報を収集し、読み取り、まとめる技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・民衆や都市の様子を描いた絵画や絵巻物等、中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・周辺諸国と日本の関係や絵画資料を取り上げ、世界との関連について考える場面が設定され、地理的条件や地域の文化と関連付けながら理解を深めることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・立憲国家体制や工業化に関する事例を挙げ、問いについて考える場面が設定されており、近現代の歴史的展開について情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・様々な地域から発掘される遺跡や遺物等、複数の資料を掲載し、古代の社会を多面的・多角的に考察し、資料を根拠にして意見をまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・様々な地域から発掘される遺跡や各地の絵巻物等、複数の資料を掲載し、中世の社会を多面的・多角的に考察し、資料を根拠にして意見をまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・民衆生活への取締りに関する法令等、複数の資料を掲載し、近世社会の統治の特徴や変容について、資料を根拠にして意見をまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・民衆生活への統制に関する法令等、複数の資料を掲載し、近現代の統治の特徴や変容について、国際情勢と関連付け、資料の内容を根拠にまとめる学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の歴史的展開とともに、各時代の特徴を表す文化に関する遺跡、遺物、文献、絵画、彫刻等、世界遺産に登録されているものを含めて掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・現代を扱う箇所、国旗・国歌法について記載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期の世界の歴史や文化について取り上げ、関連する遺跡や建築物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令の下で、従来の差別的な呼称は廃止されたが、差別が続いたことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、部落差別解消を目指す全国水平社の設立について記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、明暦の大火や町火消について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災に関する被害や人々のパニックの様子、社会運動への弾圧等について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、札幌オリンピック、長野オリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期について記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代を扱う箇所、男女の分業の可能性等について記載している。 ・律令国家を扱う箇所、男女の負担の違い、家族のあり方等について記載している。 ・鎌倉時代を扱う箇所、相続や婚姻形態等の女性の権利等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性が原則家督から排除されたこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、民法において相続は男がを優先されたこと等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、青鞥社や新婦人協会青鞥社、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	山川
教科書番号	日探706◆
教科書名	高校日本史

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・木簡等の事例を取り上げ、古代国家の統治について仮説を立てる場面が設定されるなど、情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・様々な時代の世界地図等を取り上げ、世界の中の日本という視点から中世社会の特徴に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・朝鮮通信使等の事例を取り上げ、世界の中の日本という視点から考察する場面が設定されており、地理的条件と関連付けながら近世の特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・我が国における近代化、工業化に関する事例を挙げ、問いについて考える場面が設定されており、近現代の歴史的展開について情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・中国の歴史書や遺物等、複数の資料を配置し、我が国における王朝と東アジアの関係性について考察し、資料を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・絵巻物や屏風等、複数の資料を配置し、絵に描かれた民衆や都市の様子から、中世の日本の特徴について考察し、資料を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・為政者の思惑や国際情勢に関する複数の資料を配置し、近世の日本の特徴について多面的・多角的に考察し、資料を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・有権者数の推移に関する統計資料等、複数の資料を掲載し、近現代の特色について国際情勢と関連付け、資料を分析した結果を根拠にして説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の歴史的展開とともに、各時代の特徴を表す文化に関する遺跡、遺物、文献、絵画、彫刻等、世界遺産に登録されているものを含めて掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期のアジア等の諸地域の歴史や文化について解説し、関連する遺構や遺物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令の下で、従来の差別的な呼称は廃止されたが、差別が続いたことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、部落差別解消を目指す全国水平社が設立されたことについて記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、明暦の大火や享保の改革における町火消、浅間山の噴火等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災に関する被害や人々のパニックの様子、社会運動への弾圧等について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、札幌冬季オリンピック、長野冬季オリンピックについて記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制を扱う箇所、支給される口分田の男女の面積の違いについて記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性が家督を継ぐことができなかったこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、製糸工場で働く工女等について記載している。 ・大正期の社会運動を扱う箇所、青鞥社や新婦人協会、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

教科名	地理歴史
科目名	日本史探究

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	第一
教科書番号	日探707◆
教科書名	高等学校 日本史探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【原始・古代の日本と東アジア】	・原始・古代の特色を示す中国の歴史書等の資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・日本と世界の年表を取り上げ、世界との関連について考える場面が設定されるなど、中世の統治に関わる情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・日本と世界の年表を取り上げ、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉える場面が設定されるなど、近世の統治に関わる情報を収集し、読み取る技能が身に付くよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・当時の世相を表す風刺画、就学率の推移等の資料を取り上げ、歴史資料を基に、近現代の特色に関わる情報を収集し、読み取り、まとめる技能が身に付くよう工夫されている。
b 複数の資料や地図等から得た情報を踏まえ、課題を追究したり解決したりする活動	
【原始・古代の日本と東アジア】	・東アジアの情勢や地図等の複数の資料を掲載し、日本列島における社会の発展について、資料の内容を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【中世の日本と世界】	・国際環境の変化、人口・気候の変化等、複数の資料を掲載し、中世社会の発展について、資料の内容を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近世の日本と世界】	・国際環境の変化、生活・地域の変化等、複数の資料を掲載し、近世社会の発展について、資料の内容を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。
【近現代の地域・日本と世界】	・民衆の力、日本とアジア・欧米との関係等、複数の資料を掲載し、近現代の発展について、資料の内容を根拠にして因果関係を説明する学習活動を行うことができるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・扉絵で日本各地に点在している世界遺産一覧の地図や写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、各時代の政治史、社会史とともに、各時代の文化史について解説し、遺跡、文献、絵画、彫刻等を掲載している。 ・近世、近現代を扱う箇所、日本に関わる領土問題を取り上げ、北方領土、竹島、尖閣諸島について位置や国境の推移、国境の画定や領有権の獲得等の歴史的経緯について解説し、関連資料、地図、写真等を掲載している。 ・原始、古代、中世、近世、近現代を扱う箇所、同時期の世界の歴史や文化、日本に与えた影響について解説し、関係する遺跡や建築物、文献、絵画等を掲載している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、同和問題に関して、被差別身分の人々がいたことについて記載している。 ・明治時代を扱う箇所、同和問題に関して、いわゆる解放令が出された後も、職業・結婚等において差別が根強く続いたことについて記載している。 ・大正時代を扱う箇所、同和問題に関して、全国水平社が設立され、差別の解消に向けて立ち上がったことについて記載している。 ・現代を扱う箇所、北朝鮮による拉致問題について記載している。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代を扱う箇所、明暦の大火による都市構造の変化等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、関東大震災と東京の復興について記載している。 ・現代を扱う箇所、阪神・淡路大震災、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故等について記載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を扱う箇所、1964年の東京オリンピックの開催について記載している。 ・現代を扱う箇所、札幌冬季オリンピック、長野冬季オリンピック、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことについて記載している。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代を扱う箇所、民衆の暮らしと男女の役割分担が定着していく過程等について記載している。 ・鎌倉時代を扱う箇所、相続や婚姻形態等の女性の権利等について記載している。 ・江戸時代を扱う箇所、女性が原則家督から排除されたこと等について記載している。 ・明治時代を扱う箇所、民法において、相続等で男性が優先されたこと等について記載している。 ・大正時代を扱う箇所、青鞥社や平塚らいてう、職業婦人等について記載している。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・ウェブサイトなどデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。